



た～まや～！！

この時期、あちらこちらで花火大会が開催されます。花火と言えば「か～ぎや～」「た～まや～」の掛け声です。そもそも、「かぎや」「たまや」とは江戸時代に有名だった花火師の屋号のことで、「鍵屋」「玉屋」と表します。元々人気だった鍵屋から暖簾分けしたのが、玉屋。両国橋を挟んで、上流を玉屋、下流を鍵屋が担当し花火を打ち上げるようになり、これを応援する為の掛け声で「か～ぎや～」「た～まや～」と言ったそうです。しかし、玉屋の出火で大火事となり、番頭の玉屋市兵衛は江戸から追放させられてしまい、たった1代で廃業してしまったそうです。鍵屋は現在、15代目が活躍されています。たった1代で廃業となってしまった玉屋ですが、今尚掛け声が残っているのですから、とても綺麗な花火を打ち上げていたのでしょうかね。



ほおずきで元気に！



今年の長かった梅雨もようやく終わりを迎え、夏らしい天気になってきました。この暑さで夏バテやエアコンの効いた室内との温度差で体調を崩す方も多いのではないのでしょうか？

先月の10日に浅草寺で開催されている「ほおずき市」へ参拝してきました。なんでも、「功德日」とわれる、その日に参拝すると、100日、1000日分の功德が得られる特別な日があるそうで、浅草寺では7月10日が最大の功德日だそうです。なんと「四万六千日」分の功德が得られるそう。年換算で126年分です。そんなに、たくさんはちょっと、、、と思いましたが、医学の発展もあり平均寿命も延びているなか、近い将来は、その程度の功德が必要な時代が到来するのかもしれない。

「ほおずきの実を水で丸のみすれば、大人は癩（なかなか治らない持病）を切り、子供は虫気（腹痛など）を去る」という民間信仰があったそうです。しかし、近年では信仰だけでなく、ほおずきは栄養価の高いスーパーフードとしても知られてきました。

「ストロベリィートマト（食用のほおずき）」と言われる程、味も良いようでトロピカルで南国フルーツのような香りと甘酸っぱさがあります。

効能は、βカロテンが多く皮膚や粘膜を健やかに保ち美肌に、イノシトールが脂肪肝の予防・コレステロールの低下、ビタミンAが生活習慣病・動脈硬化の予防、バイオフィラボノイドといわれるポリフェノールが美肌と免疫力アップに効果があるようです。

私は、まだ食べたことはありません。今年の夏は、食べるほおずきに挑戦して健康管理してみたいと思っています！

今年も暑くなりそうです。皆様も体調に気を付けて夏を乗り切ってください。

前田 茂光

—お知らせ—

- ◇8月6日(火)・7日(水) 学校行事の為休診とさせていただきます。
- ◇8月12日(月) は営業いたします。



【8月休診日】

4日、6・7日、11日、
13～18日(夏季休暇)
25日

前田 茂光 (まえだ しげみつ)

出身地：三重県

はり・灸・あん摩マッサージ指圧師

日本体育協会公認アスレティックトレーナー

